

第1期第3回新潟市美術館及び新潟市新津美術館協議会 資料目録

資料1 新潟市美術館及び新潟市新津美術館協議会部会 報告

資料2 新潟市美術館大規模改修工事計画（案）

資料3 文化観光・スポーツ部の組織図

資料4 「新潟市美術館の今後の運営方針」に対する

平成24年度実施概要

資料5 平成24年度 新潟市美術館事業報告

資料6 「新潟市新津美術館の今後の運営方針」に対する

平成24年度実施概要

資料7 平成24年度 新潟市新津美術館事業報告

新潟市美術館及び新潟市新津美術館協議会部会 報告

- 1 検討内容 新潟市美術館と新潟市新津美術館の収集方針（案）について
- 2 部会メンバー 金山喜昭 委員（座長）、 大倉 宏 委員、
福永 治 委員、 降旗 千賀子 委員（欠席）
- 3 部会開催日 平成25年6月10日（月）場所：新潟市美術館
- 4 検討結果

〈部会意見〉

美術資料収集方針（案）

両館の個性，特色を生かすために新潟市美術館と新潟市新津美術館の収集方針を次のとおりとしてはどうか。

「新潟市美術館」

新潟の昨日・今日・明日
19～20世紀の美術（国内・海外）
21世紀の美術（国内中心）

「新潟市新津美術館」

現代のマスカルチャー（日常生活に即した美術）
新潟地域ゆかりの美術

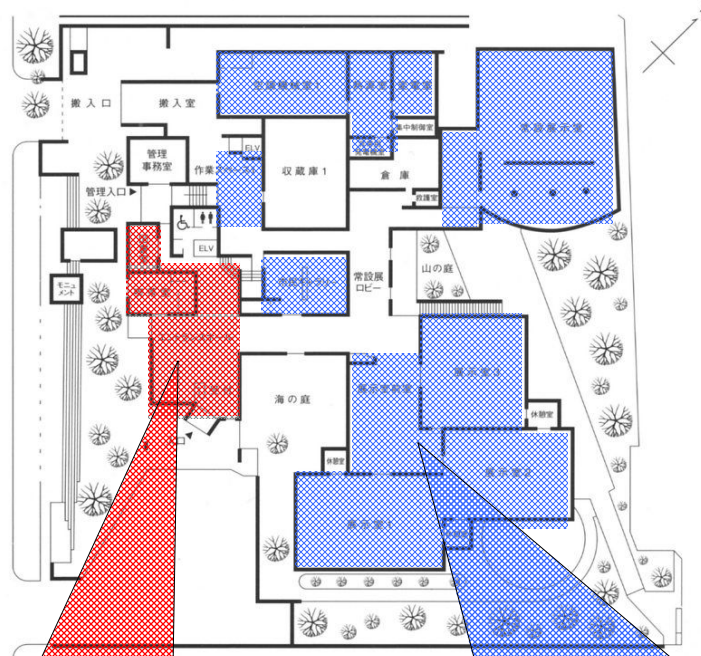
新潟市美術館大規模改修工事計画（案）

新潟市美術館の今後の運営方針 平成 24 年 8 月策定

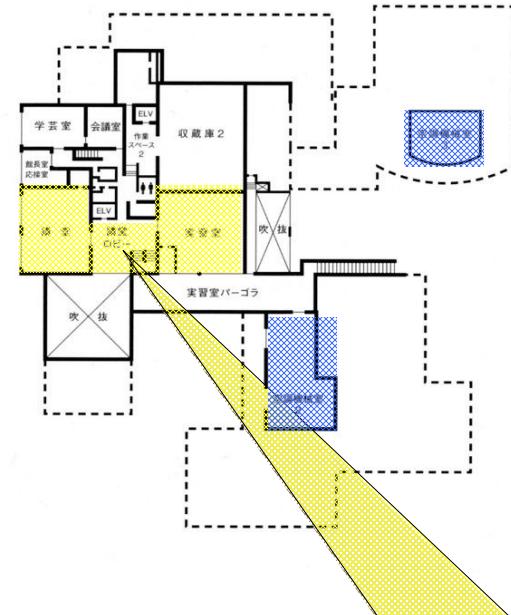
【構想の理念】政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

- | |
|--|
| 1 「あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起こす、「発見する美術館」 |
| 2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が「学べる美術館」 |
| 3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る「生きている美術館」 |
| 4 市民同士、地域の文化施設相互が「つながる美術館」 |
| 5 高い質を保ち、市民が誇れる「信頼の美術館」 |

■ 1F



■ 2F



「つながる美術館」として機能強化

・市民同士が美術について語らうなど、居心地のよい空間とします。

【具体策】

- 魅力的なミュージアムショップ、居心地のよいカフェの設置を目指します。
- 美術雑誌などを配置し、作品に加えて、西大畑公園の眺望などを楽しめる場とします。

「発見する美術館」「学べる美術館」「生きている美術館」「つながる美術館」「信頼の美術館」→機能の維持・充実

【具体策】

- 建設から 30 年近く経過し、機能維持を図るため老朽度調査（平成 22 年度前川建築設計事務所に委託）に基づき、整備が必要な項目を実施します。〔空調機系統、電気設備、給排水設備、消火設備、外壁改修 etc.〕
- 機能充実を図るため、整備が必要な項目を実施します。〔ユニバーサルデザイン対応改修、1F 収蔵庫前室化工事、展示室照明器具の省エネ化工事 etc.〕

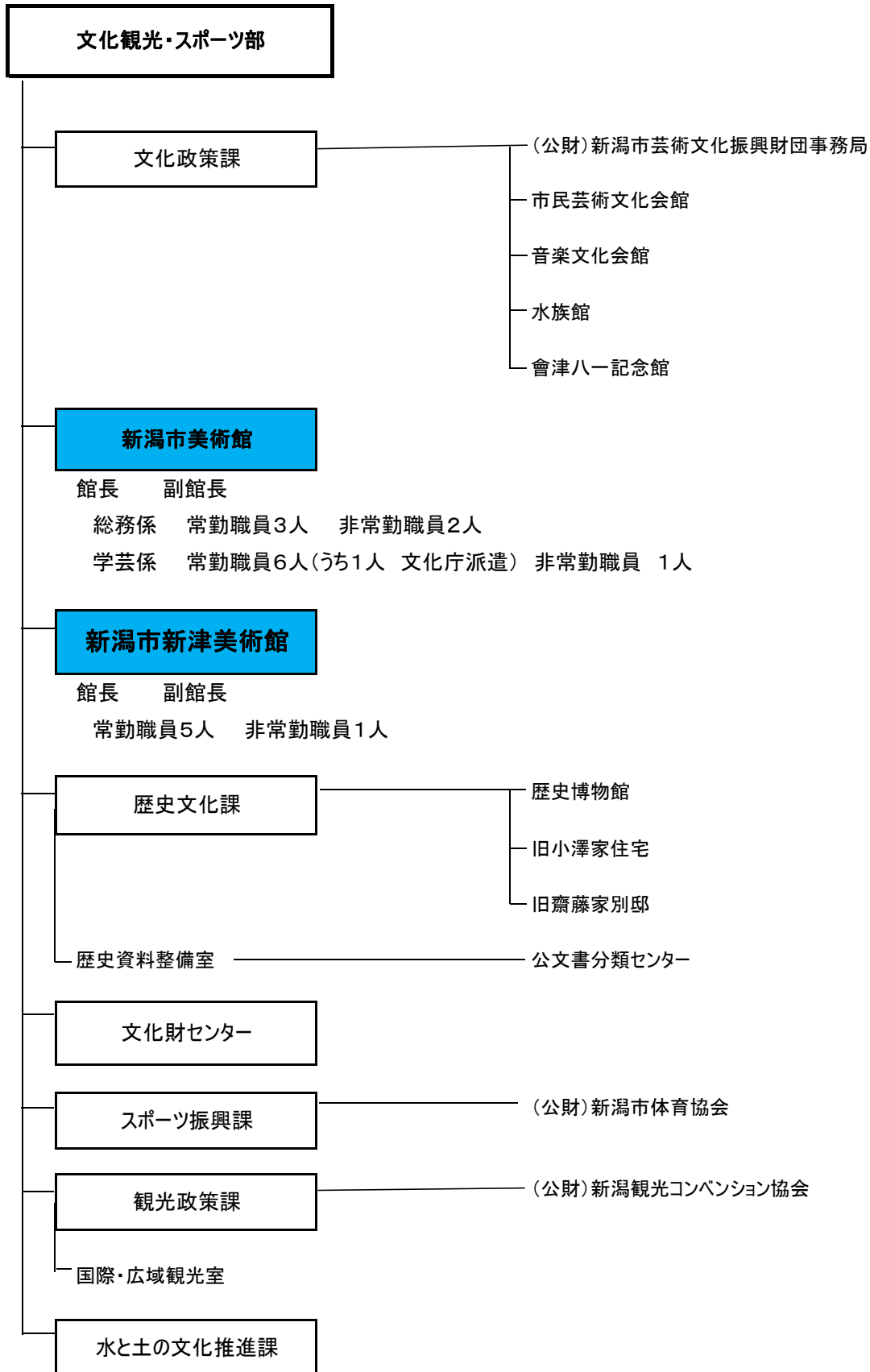
「学べる美術館」として機能強化

・各種講座、講演会などを開催するとともに、美術図書を配置し、学びの空間とします。

【具体策】

- 1 階図書室を 2 階講堂ロビーに移設し、自由に美術図書を読むことができる場とします。
- 講堂の視聴覚設備を更新し、学びの機能を強化します。

文化観光・スポーツ部の組織図(平成25年7月現在)



「新潟市美術館の今後の運営方針」に対する 平成24年度 実施概要

【構想の理念】 政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

1 「あるもの（館藏品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起す 「発見する美術館」
2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が 「学べる美術館」
3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る 「生きている美術館」
4 市民同士、地域の文化施設相互が 「つながる美術館」
5 高い質を保ち、市民が誇れる 「信頼の美術館」

【各論と具体策】

各論	具体策	理念との対応	平成24年度 実施内容	事業報告頁
コレクションの充実と有効活用	(1) コレクションの充実 ①新潟の昨日・今日・明日 ②19～20世紀の美術（国内・海外） ③21世紀の美術（国内中心）	【1】【5】	(ア) 美術資料の購入・寄贈作品の受け入れ 〈購入〉15点 阿部展也 絵画 1点、 笠原勲 絵画13点、書跡 1点 〈寄贈〉7点 絵画5点、写真2点	7
	(2) コレクション展の充実（多様な視点から光を当てる）		(ア) コレクション展の開催 年4回の展示替えを実施	1
	(3) 所藏品に関する調査研究の深化と成果の公開		(ア) 美術館年報の発行 (イ) 研究紀要の発行 (ウ) コレクション展の開催（再掲）	7 7 1
	(4) 市内の他施設との連携（共同研究、資料貸借、共同展の開催など）	【4】	(ア) 県立近代美術館、万代島美術館との連携 新潟アートリンク ―現代美術三昧― （ジパング展、GUN、草間彌生） 共通チラシの作成、スタンプラリーの実施 シンポジウムの実施 「みつけた、ローカル・アヴァンギャルド!!」 (イ) 新津美術館との連携 研究紀要の発行（再掲）、 物販（両館の図録や絵はがきを双方で販売） 広報（ホームページで相互リンク） こどもスタンプカードの運用（H25.4月～） （対象：中学生以下、4個で景品プレゼント） (ウ) 西大畑・旭町界隈の文化施設（砂丘館、旧齋藤家別邸など）との連携 「古くてアートな」町歩きマップの作成	8 8 8
企画展の充実	①コレクションの特色を反映した展覧会の開催 ②地域において顕彰すべき作家を対象とした展覧会の開催 ③多様な分野の質の高い展覧会の開催 ④姉妹都市や環日本海諸国との交流など、海外の美術を対象とした展覧会の開催	【1】【3】 【5】	(ア) 年6回の企画展の開催 「ふるさと燦燦 育まれた作家たち展」「平山郁夫展」「鬚嘸」「草間彌生」「有元利夫展」「新潟ゆかりの作家たち展」	1

各論	具体策	理念との対応	平成24年度 実施内容	事業報告頁
市民に親しまれる美術館づくり	(1)学校教育との連携→美術館を学校教育の場として開放し、地元作家の協力による学校への講師派遣を実施	【2】【4】	(ア) 出前美術館の開催 10校 (イ) オープンギャラリー実施 10校 (ウ) 教職員視察ウイーク参加者 延144人	5 4 5
	(2)生涯学習の場 ①コレクション展・企画展における展示作品解説 ②企画展関連事業（講演会、学芸員による関連講座ミュージアムコンサートなど） ③美術講座（講堂の設備を活用した美術に関する講座） ④実技講座（実習室の設備を活用した作品制作の講座） ⑤市民ボランティアの解説員の育成	【2】【3】 【4】	(ア) 展示作品解説会の開催 34回 (イ) 企画展関連事業の開催 15回 (ウ) 美術講座の開催 8回 (エ) 実技講座の開催 2回 (オ) 美術館協力学芸部勉強会（毎月第2土曜日）の開催 12回	2・3 3 6 6 8
	(3)美術館を支援する市民（例として美術館協力学会など）との連携	【4】	(ア) 美術館協力学会との連携（広報作業、資料整理、解説会の開催（毎月第3日曜日））	8
文化観光・国際交流拠点としての美術館づくり	(1)発信力のアップ（ホームページの充実、広報物のデザイン度アップなど）	【3】【4】	(ア) ホームページリニューアル（H23年度） (イ) 「美術館の館案内」作成にあたり地元デザイナーにデザイン依頼	—
	(2)外国語への対応（ホームページ、館内表示、スタッフなど）		(ア) 新潟市美術館 英語対応ホームページの運用	—
	(3)国内外の美術情報の提供		(ア) チラシ、ポスター掲示によるPR	—
	(4)ミュージアムショップの開設、カフェの充実		(ア) ミュージアムショップ（店名 ルルル）の開設（H25年4月） (イ) カフェ（店名 ダックラ）企画展と連動した食事の提供 （草間彌生展「水玉チーズケーキ」、有本利夫展「パンケーキタワー」など）	8 —
時代に即した弾力的な美術館経営	(1)企画展事業のマネジメント ①報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ②年間を通じて、収益率を意識した展覧会の企画・運営	【5】	(ア) 報道機関との実行委員会形式の展覧会の開催「ふるさと燦燦 育まれた作家たち展」 BSNと実行委員会組織 「平山郁夫展」 NSTと実行委員会組織 「有本利夫展」 新潟日报社と実行委員会組織 (イ) 年間企画展収益率 82.3パーセント ※草間彌生展収益率 132.8パーセント 歳出14,076千円 歳入18,699千円	1 1
	(2)新規の来館者を増やし、リピーターを獲得するためのしくみづくり	【4】	(ア) こどもスタンプカードの運用（再掲） （対象：中学生以下、4個で景品プレゼント） 新潟美術館と共同運用開始（H25.4月～） (イ) 県立近代美術館、万代島美術館との連携（再掲） 新潟アートリンク ー現代美術三昧ー	8 8
組織と人員配置および施設管理	(1)展示保存環境の堅持と必要な人員配置、および人材の確保・育成	【5】	(ア) 定期的な室内保存環境の検査 →財文化財虫害研究所へ委託 (イ) 学芸員の増員（H24.9月1名、H25.4月1名） (ウ) 各種研修への参加（指定文化財企画・展示セミナー、著作権セミナー ほか）	8 — —
	(2)施設機能の充実		(ア) 収蔵庫系統空調機の更新 (イ) 照明器具の省エネ化（従来型蛍光灯を省エネ型のHF管に取り換え 機械室、収蔵庫）	— —
	(3)中・長期の継続的な事業活動を支えるため、直営形式による管理運営体制を維持		(ア) 直営形式による管理運営体制の維持	—

平成24年度 新潟市美術館事業報告

I 展覧会事業

1. 常設展

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
4月13日～7月8日	コレクション展Ⅰ 「コレクションってなに？」	同時期に開催の「ふるさと燦燦育まれた作家たち展」にあわせて、当館のコレクションの成り立ちや特徴を紹介した。	8,880	76	117
7月13日～9月30日	コレクション展Ⅱ 「モノクロの世界へようこそ」	同時期に開催の「響嘯展」にあわせて、カラフルな響嘯の作品とは対照的な「モノクロ(単色)」で表現されている版画・書・絵画などを展示した。	5,422	70	77
10月5日～1月20日	コレクション展Ⅲ 「前衛(アヴァン・ギャルド)の時代」	同時期に開催の「響嘯展」「草間彌生展」にあわせて、「前衛」をテーマとした所蔵品を展示した。	27,111	85	319
1月25日～4月7日	コレクション展Ⅳ 「子どものためのコレクション展」	2011年冬に開催した企画展「子どものためのてんらんかい」をアレンジし、子どもをターゲットにした展覧会。	5,418	59	92
合計			46,831	290	161

2. 企画展

(延人数 単位:人) (単位:千円)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均	歳入/歳出
4月21日～5月20日	ふるさと燦燦 育まれた作家たち展 —旧BSN新潟美術館 所蔵品を中心に—	旧BSN新潟美術館の所蔵作品を中心に、新潟で現在活躍する20名の工芸作家による新作もあわせて展示した自主企画展。 <新潟市美術館とBSN新潟放送による実行委員会が主催>	5,260	27	195	3,232/4,000 80.8%
5月26日～7月22日	佐川美術館所蔵 平山郁夫展 —大唐西域画への道—	2009年79歳で亡くなった日本画家・平山郁夫について、佐川美術館のコレクションにより紹介した巡回展。 <新潟市美術館とNSTによる実行委員会が主催>	11,950	50	239	4,568/5,000 91.4%
7月28日～10月8日	響嘯 ふたたび虹のかなたに	「虹の画家」として知られる響嘯(あいおう)の初期から最新作までを展示した巡回展。	4,101	64	64	1,875/9,579 19.6%
11月10日～12月24日	草間彌生 永遠の永遠の永遠	現代美術を代表する芸術家として世界を舞台に活躍を続ける草間彌生の、最新作を集めた巡回展。	25,654	39	658	18,699/ 14,076 132.8%
1月2日～2月11日	新春三大美術展 有元利夫展 —天空の音楽—	2010年より、大和デパートの閉鎖により当館で開催している展覧会。有元利夫(洋画家)を回顧した巡回展。 <新潟市美術館と新潟日报社による実行委員会が主催>	12,822	38	337	4,500/5,000 90%
2月23日～4月14日	新潟ゆかりの作家たち展 —長井亮之・富川潤一・ 江川蒼竹—	新潟市ゆかりの物故作家である書の江川蒼竹、洋画の富川潤一、日本画の長井亮之の三人の作家の作品を紹介した自主企画展。	2,874	44	65	1,352/3,956 34.2%
合計			62,661	262	239	34,226/ 41,611 82.3%

3. 新潟市美術展(貸館)

(延人数 単位:人)

期 間	事 業 名	内 容	観 覧 者	開 催 日 数	1 日 平 均
10月17日～21日 24日～28日	第44回新潟市美術展	新潟市に在住・通学・通勤している市民の作品による展覧会	6,515	10	652

II 教育普及事業

1. 常設展関連

(延人数)

期 間	事 業 名	内 容	参 加 者 数
コレクション展 I	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説 (5/5、5/26、6/23) 3回	49
コレクション展 II		学芸員による展示作品の解説 (10/21、11/24、12/22) 3回	18
コレクション展 III		学芸員による展示作品の解説 (10/21、11/24、12/22) 3回	68
コレクション展 IV		学芸員による展示作品の解説 (1/26、2/23、3/23) 3回	37
		合計	172

2. 企画展関連

※特記のないものは当館講堂にて開催

(延人数 単位:人)

企画展名	事業名	内容	参加者数
ふるさと燦燦 育まれた作家たち展 —旧BSN新潟美術館所蔵品を中心に—	特別対談(4/21実施)	宮田亮平氏(金工家)と竹石松次氏(BSN社長)との対談	100
	講演会(4/28実施)	玉川宣夫氏(金工家)による講演	28
	講演会(5/12実施)	伊藤赤水氏(陶芸家)による講演	54
	講演会(4/21実施)	原益夫氏(金工家)による講演	41
	作品鑑賞会 (会期中の日曜日: 4/22、29、5/6、12、20実施)	学芸員による同展作品鑑賞会 【会場:当館展示室】	125
佐川美術館所蔵 平山郁夫展 —大唐西域画への道—	講演会「平山郁夫とともに」(6/2実施)	平山美知子氏(平山郁夫シルクロード美術館館長)・小川貞夫氏(彌生画廊)の対談形式による講演 【会場:りゅーとびあ 能楽堂】	300
	作品鑑賞会 (会期中の日曜日: 5/26、6/10、24、7/8、22実施)	学芸員による同展作品鑑賞会 【会場:当館展示室】	292
靉嘔 ふたたび虹のかなたに	講演会「自由について」 (7/28実施)	靉嘔氏によるハプニング 【会場:新潟市美術館講堂~エントランス】	69
	「バス観光ハプニングin 新潟2012」(9/22実施)	靉嘔氏によるハプニング 【会場:新潟市美術館~笹川流れ(観光バス利用)】	20
	作品鑑賞会 (8/5、19、9/2、16、30 実施)	学芸員による同展作品鑑賞会 【会場:当館展示室】	71
草間彌生 永遠の永遠の永遠	講演会「草間彌生の世界」(11/10実施)	建島哲氏(埼玉県立近代美術館館長)による講演	93
	映画上映会(11/11実施)	映画『草間彌生 わたし大好き』上映 【会場:新潟市民映画館シネ・ウインド】	111
	ミュージアム・コンサート (12/16実施)	栗コーダー・カルテットによる演奏(2回実施)	195
新春三大美術展 有元利夫展 —天空の音楽—	記念対談①「有元利夫の思い出」(1/13実施)	小川貞夫氏(彌生画廊)・塩田純一(当館館長)の対談形式による講演	94
	記念対談②「舟越桂が語る有元利夫」(2/3実施)	舟越桂氏(彫刻家)・塩田純一(当館館長)の対談形式による講演	110
	作品鑑賞会 (1/20、27実施)	学芸員による同展作品鑑賞会 【会場:当館展示室】	68
新潟ゆかりの作家たち展 —長井亮之・富川潤一・江川蒼竹—	講演会①「江川蒼竹を語る」(2/24実施)	江川蒼淵氏(書家)による講演	58
	講演会②「富川潤一を語る」(3/10実施)	西村満氏(洋画家)による講演	48
	講演会(3/24実施)	榎谷一代氏(日本画家)による講演	41
	作品鑑賞会 (3/3、17、31、4/7、14 実施)	学芸員による同展作品鑑賞会 【会場:当館展示室】	87
		合計	2,005

3. 共催事業

※いずれも当館講堂にて開催

(延人数 単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
5月3日	フォーラム 「ミュージアム雑論—地域の美術館・博物館—」	奥野達夫氏(南砺市立福光美術館館長)、伊藤文吉氏(北方文化博物館館長)、塩田純一(当館館長)との鼎談。 (※新潟県博物館協議会との共催)	60
11月25日	シンポジウム 「みつけた、ローカル・アヴァンギャルド!!」	NIGATAアートリンクー現代美術三味一の記念シンポジウム。 パネラー／高晟俊氏(新潟県立万代島美術館学芸員)、鈴木正美氏(新潟大学人文学部教授)、塩田純一(当館館長)、濱田真由美(当館学芸係長) (※県立美術館2館と当館との共催)	13
合計			73

4. 学校向け教育普及事業

①学校のためのオープン・ギャラリー2012

(単位:人)

実施日	実施校	内容	参加者数		
			児童・生徒	引率	合計
7月5日	潟東南小学校 4・5年生	平山郁夫展・コレクション展Ⅰの鑑賞	37	3	40
8月30日	青山小学校 3年生	靉嘔展・コレクション展Ⅱの鑑賞	72	4	76
9月6日	山の下小学校 2・5年生	靉嘔展・コレクション展Ⅱの鑑賞	76	3	79
9月13日	青山小学校 4年生	靉嘔展の鑑賞	85	3	88
9月28日	潟東西小学校 3・4年生	靉嘔展・コレクション展Ⅱの鑑賞	19	4	23
10月2日	豊栄南小学校 1～6年生	靉嘔展の鑑賞	65	15	80
10月18日	葛塚小学校 6年生	コレクション展Ⅲの鑑賞	92	6	98
11月13日	立仏小学校 3年生	草間彌生展・コレクション展Ⅲの鑑賞	66	3	69
11月16日	潟東東小学校 3・4年生	草間彌生展・コレクション展Ⅲの鑑賞	24	2	26
11月27日	大野小学校 4年生	草間彌生展・コレクション展Ⅲの鑑賞	74	3	77
12月6日	笹口小学校 2年生	草間彌生展・コレクション展Ⅲの鑑賞	51	2	53
3月7日	潟東東小学校 3・4年生	新潟ゆかりの作家たち展・コレクション展Ⅳの鑑賞	38	3	41
実施校計10校		合計	699	51	750

②子どものための「出前美術館」

実施日	実施校	内容	(単位:人)		
			参加者数		
			児童・生徒	一般 (含教職員)	合計
7月3日	県立新潟中央高校	猪爪彦一氏(洋画家)による講演と作品鑑賞	20	2	22
9月11日	市立白根小学校	猪爪彦一氏(洋画家)による講演と作品鑑賞	99	7	106
9月12日	市立山田小学校 6年生	榑谷一代氏(日本画家)による講演とワークショップ	90	3	93
9月13日					
9月20日	市立白根小学校 5年生	榑谷一代氏(日本画家)による講演とワークショップ	90	3	93
9月21日					
9月27日	市立潟東西小学校	菅井甚右衛門・哲氏(書人)による講演とワークショップ	20	3	23
9月24日	市立大野小学校	榑谷一代氏(日本画家)による講演とワークショップ	73	2	75
10月5日	新潟大学附属新潟小学校	小飯塚真理子氏(ファイバーワーク造形作家)による講演とワークショップ	38	31	69
10月23日	市立結小学校	猪爪彦一氏(洋画家)による講演と作品鑑賞	108	11	119
11月20日	市立巻南小学校	菅井甚右衛門・哲氏(書人)による講演とワークショップ	40	7	47
12月11日	市立大野小学校	菅井甚右衛門・哲氏(書人)による講演とワークショップ	81	8	89
1月8日	市立月潟中学校	菅井甚右衛門・哲氏(書人)による講演とワークショップ	95	13	108
1月17日	教育相談センター (不登校児童)	菅井甚右衛門・哲氏(書人)による講演とワークショップ	19	12	31
実施校計10校		合計	773	102	875

③教職員視察ウィーク

期間	事業名	内容	(延人数 単位:人)	
			参加者数	
4月21日～5月20日	「ふるさと燦燦 育まれた作家たち展」 「コレクション展Ⅰ」	新潟市内の幼稚園・保育園や学校の教職員から、企画展・常設展を視察してもらい、授業での美術館活用・利用に役立ててもらったり、児童・生徒へ美術館や展覧会を紹介してもらったりするための視察・広報期間 ※新春展(有元利夫展)については実施せず。	0	
5月26日～7月22日	「平山郁夫展」 「コレクション展Ⅰ」		13	
7月28日～10月8日	「襲嘔」 「コレクション展Ⅱ」		17	
11月10日～12月24日	「草間彌生」 「コレクション展Ⅲ」		113	
2月23日～4月14日	「新潟ゆかりの作家たち展」 「コレクション展Ⅳ」		1	
合計			144	

5. 美術講座

※いずれも当館講堂にて開催

(単位:人)

実施日	講座名	講師	参加者数
7月21日	前川國男と新潟	講師:松沢寿重学芸員	30
8月18日	日本のデザインの50年代 —アメリカへのあこがれ	講師:星野立子学芸員	17
9月15日	靉嘔とフルクサス	講師:杉本藍学芸員	14
11月17日	草間彌生とニューヨーク	講師:濱田真由美学芸係長	46
12月15日	3.11以降の美術	講師:塩田純一館長	26
1月6日	古い物はなぜ美しいのか? —岸田劉生から有元利夫—	講師:藤井素彦学芸員	41
1月19日	美術館の仕事 —保存と修復—	講師:石垣雅美学芸員	27
2月9日	古代ギリシア美術入門 —ミロのヴィーナスは、なぜ裸体なのか?—	講師:山岸亜友美学芸員	63
実施計8回		合計	264

6. 実技講座

※いずれも当館実習室にて開催

(延人数 単位:人)

日時	講座名	内容	参加者数
8月12日	「新潟市美術館の作品を紙でつくって、積み上げよう!」	講師:富井大裕氏(造形作家) ※8月13日~19日 講座の作品を市民ギャラリーで展示	8
11月18日	「銅版画(メゾチント)で年賀状を作ろう」	講師:鈴木晃氏(版画家)	51
12月2日			
12月9日			
実施計2回(4日)		合計	59

7. 子ども向け講座

(単位:人)

期間	事業名	内容	参加者数
8月5日	夏休み子ども講座「虹のまんげきょうを作ろう!」	当館職員による子ども向けワークショップ【会場:新潟市美術館実習室・展示室・バックヤード】夏休みの一日を美術館を探索したり、作品づくりをして過ごすワークショップ。靉嘔展に関連して「虹の万華鏡」作りを行った。	18
8月26日	夏休み子ども講座「虹のまんげきょうを作ろう!」		20
実施計2回(2日)		合計	38

Ⅲ 調査研究事業

項目	内容
美術館年報	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。年1回発行。 発行数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかへ送付
研究紀要	美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして収載。新津美術館と共同で年1回発行。 発行数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかへ送付

Ⅳ 収集保存事業

(1)-①美術資料の収集(購入)

作家名/作品名	材質・寸法
阿部展也/《こま》	鉛筆、紙 17.9×21.9cm
笠原 勲/《牡丹》	油彩、カンバス 38.0×45.6cm
笠原 勲/《旧新潟税関》	水墨淡彩、紙 42.0×67.0cm
笠原 勲/《萬代橋図》	水墨淡彩、18葉貼り交ぜ屏風(六曲半双) 174.0×358.8cm
笠原 勲/《常浪川の築場》	水墨淡彩、紙 40.0×64.5cm
笠原 勲/《常浪川晩春》	水墨淡彩、紙 57.9×86.6cm
笠原 勲/《御神楽岳眺望》	油彩、カンバス 37.5×46.7cm
笠原 勲/《麒麟山下流の秋色》	油彩、カンバス 37.0×45.0cm
笠原 勲/《麒麟山表面常浪川風景》	油彩、カンバス 43.7×51.2cm
笠原 勲/《麒麟山》	油彩、カンバス 70.7×96.5cm
笠原 勲/《津川歴史の里》	水墨淡彩、紙 67.0×125.2cm
笠原 勲/《早春の阿賀野川下り》	水墨淡彩、紙 32.5×129.0cm
笠原 勲/《中国北京》	油彩、カンバス 43.7×51.2cm
笠原 勲/《中国の旅》	水墨淡彩、紙 42.0×65.2cm
笠原 勲/《七絶一首》	墨、紙 133.5×31.5cm
絵画14点、書跡1点/計15点	

(1)-②美術資料の収集(寄贈)

区分	作家名(点数)
絵画 5点	小野末(2点)、藤田熊雄(1点)、吉原芳仙(1点)、豊嘸(1点)
写真 2点	中俣正義(2点)
計7点	

(2)作品の修復

作品名	内容
甲斐庄楠音《(黒衣の女)》 1924-26年頃	洗浄、欠損部の補填、補彩、下地の張り替えなどの修復作業。収蔵以前からの古い損傷や汚れ、カビ痕があったため、今後の展示活用も考慮し、修復を行った。
長谷川秋一郎《自画像》 制作年不明	洗浄、浮き上がり接着、欠損部の充填、補彩などの修復作業。収蔵以前からの剥落など作品の傷みが目立つため、今後の展示活用も考慮し、修復を行った。

(3) 収蔵・展示環境保存, 作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	収蔵庫、展示室の温湿度の管理、定期的な真菌数検査、IPM(総合的有害生物管理・虫等の生物被害未然防止対策)を行った。
作品管理	作品のデータベース化をすすめ、カードとデータの2元管理を行い、事務の効率化を図った。

V 施設普及事業ほか

項目	内容
美術館ニュース「Wave」	美術館の諸活動を広く広報するため、他の美術館や関係機関、関係者に送付するほか、市出先機関の窓口等でも配布する。年1回発行。 発行数:5,000部 配布先:他の美術館や関係機関、市出先機関の窓口、近隣文化施設
クラシックストリート	5月5日、ラ・フォル・ジュルネ新潟2012関連イベントとして、新潟ジャズストリート実行委員会の主催で開催。当館は、エントランスホールの会場設営、リハーサル及び広報、当日の運営で協力。 3組の演奏者による3回のクラシック音楽公演(各回30分間)を実施し、計170人の一般市民が参加。
ミュージアムコンサート(再掲)	12月16日、「草間彌生展」に関連付けて、草間彌生のドキュメンタリー映画『ニアイコール 草間彌生 わたし大好き』の音楽を担当した栗コーダーカルテットの演奏による「栗コーダーカルテット ミニコンサート」2回公演を開催。 会場は講堂を使用し、計195名が参加。
ミュージアム・ショップの開設準備	常設のミュージアム・ショップを開設するため、プロポーザルにより業者の選定を行い、2013年4月のオープンに向け、準備を行った。
博物館実習生の受け入れ	学芸員資格取得にかかる実習生の受け入れ 8月21日～8月31日 5人
他施設との連携	〈県立近代美術館、万代島美術館との連携〉 新潟アートリンク - 現代美術三昧- (ジバング展、GUN、草間彌生) 共通チラシの作成 スタンプラリーの実施 相互割引 シンポジウムの開催「みつけた、ローカル・アヴァンギャルド!!」
	〈新津美術館との連携〉 研究紀要の発行(再掲) 図録や絵はがきの相互販売 ホームページの相互リンク こどもスタンプカードの共通運用(H25. 4月～)
	〈西大畑・旭町界隈の文化施設(砂丘館、旧齋藤家別邸など)との連携〉 「古くてアートな」町歩きマップの作成
新潟市美術館協会との連携	・解説会の開催「ふれあい美術館ガイド」年12回 ・広報の支援 展覧会ポスター・チラシの区分けなど 年11回 ・資料整理の支援 新聞記事スクラップの整理など 年62回

「新潟市新津美術館の今後の運営方針」に対する 平成24年度 実施概要

【構想の理念】市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館

1. 美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育む「何かが見つかる美術館」
2. 美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践する「明日へ向かう美術館」
3. 他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取り組みを実践する「みんなと歩む美術館」

【各論と具体策】

各論	具体策	理念との対応	平成24年度 実施内容	事業報告頁
展覧会の充実	(1) 独自性のある展覧会の開催 ①学芸員の研究成果を取り入れながらもその専門性に偏らない、質が高く市民に分かりやすい幅広い展覧会の開催（サブカルチャー、絵本、写真展など） ②所蔵品を活用した展覧会の開催 ③美術館に対して市民の興味を抱かせる魅力ある展覧会の開催	【1】	(ア) 年5回の企画展の開催 「ウルトラマン創世紀展」「手塚治虫展」「さとうわかきこ絵本原画展」「華麗なるインド展」「秋葉区の隠れた名品展・岩田正巳小品展」	1
新潟の文化や作家の育成・紹介	(1) 地域文化の魅力の発信 ①多彩な展覧会を開催することにより、新たな発見と感動の場を提供	【1】	(ア) 企画展「秋葉区の隠れた名品展」の開催（再掲） ※秋葉区内の公共施設等で所有または保管している美術作品について調査を実施し、企画展を開催	1
	(2) 新しい新潟の文化の発信 ①調査・研究に基づいた展覧会の開催により、新潟の文化と作家を紹介	【1】		
市民に愛され親しまれる美術館づくり	(1) 芸術文化の発信や交流の場づくり ①企画展関連事業の充実（講演会、学芸員による関連講座など） ②美術講座の開催（テーマを設定した美術に関する講座） ③アトリウムの空間を活用したミュージアムコンサートの開催 ④芸術家による学校等へ出前授業（アウトリーチ）の実施 ⑤季節に因んだ、文学の朗読と音楽を融合した公演（シーズン&アート）の開催 ⑥ミュージアム・ショップ、カフェの充実	【1】【3】	(ア) 企画展関連事業の開催 71回 「講演会」「展示解説会」「対談&サイン会」「折り紙づくり」「絵本の読み聞かせ」など (イ) 美術講座の開催 5回 (ウ) ミュージアムコンサートの開催 10回 「ピアノとおおはなし名曲コンサート」「音の展覧会（管弦楽）」「ジャズオーケストラ」「弦楽合奏」「合唱（2回）」「インド古典音楽（4回）」 (エ) 芸術家による学校への出前授業等の開催 7回 小学校6・幼稚園1 (オ) シーズン&アートの開催 2回 「花のいのち」（宇野千代氏の文学作品の朗読・解説、箏の演奏） 「小泉八雲～怪談と平家物語」（小泉八雲氏の文学作品の朗読解説、平家琵琶の演奏等） (カ) ミュージアム・ショップにおいて、自主販売と委託販売の併用、独自商品の選択 (キ) カフェ（店名 カフェコロ） 企画展と連動した食事の提供（ウルトラマン創世紀展「子ども向けドリンクセット」、華麗なるインド展「カレーパンとミルクティセット」など）	2 3 5 2・3 5 -
	(2) 利用しやすい環境の形成 ①託児サービスの実施	【3】	会期中の第2・4の木曜・土曜日 <実績> 利用日数12日 利用人数 25人	5
	②「こどもタイム」（親子で語り合いながら鑑賞できる時間帯）の実施		会期中の第1・3の木曜・日曜日 <実績> 94日	5
	③「あいてマング〜」（各展覧会会期中に1回、月曜日を開館）の実施		<実績> 5日	5
美術資料の収集・保存	(1) 美術資料の計画的な収集・整理・保管及び調査・研究 ①コレクションの充実（寄贈・購入・寄託）	【2】	(ア) 美術資料の寄贈等 <寄贈> 72点 絵画15点、彫刻2点、書2点、工芸1点、 絵本原画52点 <管理替> 7点 （秋葉区役所、新津図書館、小須戸出張所より） 絵画6点、彫刻1点	4

各論	具体策	理念との対応	平成24年度 実施内容	事業報告頁
美術資料の収集・保存	(2) 所蔵品台帳の整備、美術資料の積極的な活用・普及 ①常設展のほか、所蔵品による企画展の開催	【2】	(ア) 所蔵品展の開催 (イ) 企画展「秋葉区の隠れた名品展」の開催(再掲)	1
他施設等との連携・交流	(1) 市民、他施設との連携協力 ①周辺施設、学校、市内の他施設との連携の充実	【3】	(ア) 秋葉区内3公共施設の連携による観覧料の割引(新津美術館・新潟市鉄道資料館・新潟県立植物園) (イ) 花ふるフェスタ協賛イベントによる観覧料の割引 (ウ) フラワースタンプラリーの実施 秋葉区内や県内の参加店を巡るスタンプラリー (エ) 新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」で通年展示 (オ) 市内の他文化施設との連携 中央区の燕喜館及び新潟市民芸術文化会館でシーズン&アートを開催 (カ) 新潟市美術館との連携 研究紀要の発行 物販(両館の図録や絵はがきを双方で販売) 広報(ホームページで相互リンク) こどもスタンプカードの運用(H25.4~) (対象:中学生以下、4個で景品プレゼント)	6
	②ボランティアの活用・充実		(ア) 自主事業(絵本の読み聞かせなど) 55回 延べ81人 (イ) サポート活動(イベント等の会場設営、受付など) 4回 延べ10人 (ウ) 広報補助活動(ポスター、ちらし郵送作業) 8回 延べ13人 ※平成24年度登録者数 32名	5
	(2) 計画的な広報活動の実践による、美術館活動の周知 ①ホームページの充実・活用 ②様々な媒体を利用した周知	【3】	(ア) ホームページに分かりやすく情報を掲載 (イ) ブログの発信(週1~2回) (ウ) 美術専門誌や新聞、テレビ、ラジオによる広報 (エ) 近隣の区や他市等できめ細やかな広報を実施	6
健全なマネジメント	(1) 施設の効率的な管理運営 ①少ない人的資源の中で、安全で機能的・能動的な管理運営	【3】	(ア) 朝礼による日々の管理運営情報の共有 (イ) 定期的な館内ミーティングの開催 (ウ) 受付職員、監視員との朝礼、終礼の開催	—
	(2) 報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ①テレビ局・新聞社との連携	【3】	(ア) 実行委員会形式での開催 2回 「ウルトラマン創世紀展」UXとの実行委員会組織 「手塚治虫展」NSTとの実行委員会組織 (イ) 企画展で新潟日報社と名義共催 4回 「ウルトラマン創世紀展」「手塚治虫展」「さとうわかきこ絵本原画展」「秋葉区の隠れた名品展・岩田正巳小品展」	1
	(3) 年間を通じて、収益率を意識した展覧会の企画・運営 ①展覧会経費と収入バランスを認識し、職員全員が予算状況を把握	【3】	(ア) 共有ファイルを活用し、展覧会ごとの収支を職員間で情報共有 (イ) 年間企画展収益率 66.8% 歳入 20,385千円 歳出 30,529千円 ※年間企画展観覧者 61,341人(年間観覧者は68,245人)中、中学生以下、東日本大震災避難者、障がい者等の無料観覧者数 18,342人(29.9%)	1
組織と人員配置 および施設管理	(1) 美術館活動を充実させるため、必要な人員配置と職員研修の実施による人材の確保と育成 ①魅力ある美術館を目指すための、職員の相互協力	【2】【3】	(ア) 各種研修への参加(博物館学芸員専門講座、文化財の虫菌害・保存対策研修) (イ) 職場研修の実施(接遇研修、AEDによる救命講習ほか)	—
	(2) 老朽化した設備などの計画的な改修 ①長期的な計画による予算措置	【2】	(ア) 展示室スポットライトの省エネ(LED)化 (イ) 客用トイレの洗浄機能追加 (ウ) 空調機器(制御関係)の更新予算要求	—
	(3) 中・長期の継続的な事業活動を支えるための、直営形式による管理運営体制の維持	【2】	(ア) 直営形式による管理運営体制の維持 (イ) 臨時職員の弾力的な活用	—

平成24年度 新潟市新津美術館事業報告

I 展覧会事業

1. 所蔵品展

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
4月14日～ 6月24日		ウルトラマン創世紀展で展示室を使用したため、所蔵品展の開催はなし。	—	—	—
6月30日～ 8月26日	所蔵品展2012夏 笹岡了一と佐藤昭平 —金津村出身の洋画家と自然—	「自然」をテーマに郷土出身の2人の洋画家の作品を展示(笹岡了一:5点、佐藤昭平:3点)	15,096	51	296
9月1日～ 10月28日	所蔵品展2012秋 笹岡了一と佐藤昭平 II —物語の森—	企画展(絵本原画展)にあわせ、「物語性」に注目し、郷土出身の2人の洋画家の作品を展示(笹岡了一:3点、佐藤昭平:3点)	8,731	43	203
11月3日～ 1月19日	所蔵品展2012秋・冬 洋画と書 —笹岡了一と江川蒼竹—	企画展(インド展)にあわせ、郷土出身の洋画家と新潟市出身の書家がシルクロードや仏教を題材にした作品を展示(笹岡了一:3点、江川蒼竹:1点)	7,255	61	119
2月2日～ 3月24日	所蔵品展2012冬・春 春・チューリップ —笹岡了一と秋山庄太郎—	待ち遠しい「春」をテーマに作品を展示(笹岡了一:5点、秋山庄太郎:14点)	3,070	45	68
合計			34,152	200	171

※企画展・共催展・その他の展覧会の準備期間は全館閉館のため、所蔵品展の開催はなし。

2. 企画展

(延人数 単位:人)

(単位:千円)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均	歳入/歳出
4月14日～ 6月24日	ウルトラマン創世紀展 ～ウルトラQ誕生からウルトラマン80へ～	1966年～1980年のウルトラマンシリーズを取り上げ、当時のマスク、小道具、怪獣デザイン画、写真などを展示 ＜新津美術館とUX新潟テレビ21による実行委員会が主催＞	34,093	64	533	10,364/9,000 115.2%
6月30日～ 8月26日	手塚治虫展 「鉄腕アトム連載60周年 映画ブッダ製作記念」	作家・手塚治虫が生み出した魅力的なキャラクターたちによって繰り広げられる「手塚ワールド」を紹介 ＜新津美術館とNST新潟総合テレビによる実行委員会が主催＞	15,096	51	296	5,204/4,500 115.6%
9月1日～ 10月8日	さとうわきこ絵本原画展 ～みんなだいすき ばばあちゃん～	“ばばあちゃん”シリーズを含む初期からの絵本の原画や巨大な「ねぶた」作品などを紹介	6,376	34	188	2,387/6,542 36.5%
11月3日～ 12月26日	島中光享コレクション 華麗なるインド —インドの細密絵画と染織の美	インド美術の細密絵画(ミニアチュール)とインド染織を展示	2,706	47	58	1,271/7,294 17.4%
2月2日～ 3月24日	秋葉区の隠れた名品展 岩田正巳小品展	秋葉区内の公民館や学校など公立施設が所有する“隠れた”作品を紹介 あわせて三条市出身の日本画家・岩田正巳の作品を紹介	3,070	45	68	1,159/3,194 36.3%
合計			61,341	241	255	20,385/30,529 66.8%

※四捨五入あり

3. 共催の展覧会

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
1月5日～ 1月19日	第9回 新潟教育アート展	下越の保育園、幼稚園、小中学生、高校生の作品の展覧会	4,549	14	325
合計			4,549	14	325

4. その他の展覧会

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
10月20日～ 10月28日	第6回 秋葉区美術展覧会	秋葉区に在住・勤務する市民の作品による展覧会	2,355	9	262
		合計	2,355	9	262

II 教育普及事業

1. 企画展関連

(延人数 単位:人)

企画展名	事業名	内容	参加者数
ウルトラマン創世紀展	スペシャル対談&サイン会 (4/14、2回実施)	「ウルトラマン撮影秘話」 出演:黒部進氏、桜井浩子氏 会場:新津美術館レクチャールーム	325
	ウルトラマンの紙相撲と折り紙を作ってみよう (4/14～6/24、37回実施)	折り紙づくり・紙相撲遊び 会場:新津美術館市民ギャラリー及びレクチャールーム	1,285
	スペシャル対談&サイン会 (5/12、2回実施)	「ヒーロー・ヒロインを演じて」 出演:森次晃嗣氏、ひし美ゆり子氏、古谷敏氏 会場:新津美術館レクチャールーム	360
	講演会 (5/19実施)	「映像アーティストの梁山泊としての円谷特技プロダクションの足跡」 講師:高橋信之氏 会場:新津美術館レクチャールーム	35
	ウルトラマン握手&撮影会 (6/2、3回実施)	握手&撮影会 会場:新津美術館市民ギャラリー	627
手塚治虫展	講演会 (7/29実施)	「父・手塚治虫の素顔」 講師:手塚眞氏 会場:新津美術館レクチャールーム	104
	関連講座 (8/19実施)	「手塚治虫と『ブッダ』の世界」 講師:学芸員 会場:新津美術館レクチャールーム	52
さとうわきこ絵本原画展	講演会&サイン会 (9/22実施)	「わたしと絵本」 講師:さとうわきこ氏 会場:新津美術館レクチャールーム・市民ギャラリー	173
	ワークショップ (9/23実施)	「石の動物づくりに挑戦!」 講師:さとうわきこ氏 会場:新津美術館市民ギャラリー	70
	絵本のよみきかせ (9/2・9・15・30、10/7の日曜日に1日2回実施)	講師:当館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館レクチャールーム・2階休憩コーナー	246
	こどものための展示ガイドおはなしトレイン (9/15、10/7実施)	講師:職員、当館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館展示室	32
華麗なるインド展	講演会 (11/3実施)	講師:畠中光享氏 会場:新津美術館レクチャールーム	35
	ギャラリートーク&サイン会 (11/4実施)	講師:畠中光享氏 会場:新津美術館レクチャールーム	20
	ミュージアムコンサート (11/24、12/9、各日2回実施)	でいがでいなエチゴによるインド古典音楽の演奏(シタール・タブラ) 会場:新津美術館アトリウム	204
秋葉区の隠れた名品展 ／岩田正巳小品展	展示解説会 (2/10・17、3/10実施)	学芸員による同展展示解説会 会場:新津美術館展示室	54
	美術講座・展示解説会 (3/9実施)	「岩田正巳と新興大和絵画」 講師:館長 会場:新津美術館レクチャールーム・展示室	36
		合計	3,658

2. 学校向け教育普及事業

①アウトリーチコンサート

(単位:人)

実施日	実施校 / 学級	内容	参加者数
10月11日	両川小学校 / 1年	音楽と美術を融合させることにより、子どもたちに生の音楽の素晴らしさを感じてもらおうと共に、絵を描く行為を通じ、美術に親しんでもらい、美術館がより身近なものであると感じてもらおう。(10月に開催するミュージアムコンサート出演者による、近郊の小学校、幼稚園等へのアウトリーチ活動)	54
10月11日	小合東小学校 / 4・5・6年		49
10月12日	小須戸幼稚園 / 年長・年中		35
10月12日	金津小学校 / 4年		演奏:佐々木京子氏(ピアノ)「お話とピアノ」
	実施校計4校 4回	合計	197

②スクールコンサート

(単位:人)

実施日	実施校 / 学級	内 容	参加者数
10月15日	新津第一小学校 / 全学年	より多くの子どもたちに生の音楽の素晴らしさを感じてもらうため、アウトリーチコンサートを補完する形で行う。また、美術館をより身近に感じてもらうために、展覧会に因んだ曲を交えた演奏を行う。(県内出身アーティストによる近郊の小中学校での演奏)	501
10月30日	庄瀬小学校 / 全学年		109
10月31日	小須戸小学校 / 全学年		演奏:新潟 ARS NOVA(管弦楽)
実施校計3校 3回		合計	918

③美術館学芸員の派遣

(単位:人)

実施日	実施校 / 学級・事業名	内 容	参加者数
7月12日	臼井中学校 / 2年	家庭科授業「絵画を用いたブックカバー作り」のゲストティーチャーとして参加。図案化の仕方などについて講義 講師:小林一吉学芸員	33
2月9日	にいがた市民大学	講座テーマ:五姓田派の描いた新潟町の人々ー明治新潟のリーダーたちー 講師:大森慎子学芸員	17
実施 2回		合計	50

④博物館実習生の受け入れ

(単位:人)

実施日	内 容	参加者数
8月20日～ 8月31日	学芸員資格取得にかかる実習生の受け入れ	3

3. 美術講座

※いずれも当館レクチャールームにて開催

(単位:人)

実施日	事業名	講 師	参加者数
9月8日	明治期の日本画と西洋の影響	講師:横山秀樹館長	11
9月15日	近世 新潟の絵師 五十嵐澄明	講師:大森慎子学芸員	12
9月29日	新潟の白樺派にみる大正期の美術と宗教	講師:小林一吉学芸員	12
10月6日	印度ミニアチュール絵画の魅力	講師:小熊千佳子主査	15
3月9日	岩田正巳と新興大和絵会【再掲】	講師:横山秀樹館長	36
実施計5回		合計	86

4. 子ども向け事業

(単位:人)

実施日	事業名	内 容	参加者数
4月14日～ 6月24日	ウルトラマンの紙相撲や折り紙を作ってみよう(37回)【再掲】	ウルトラマンの紙相撲・折り紙づくり 講師:新津美術館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館市民ギャラリー及びレクチャールーム	1,285
9月23日	ワークショップ【再掲】	「石の動物づくりに挑戦!」 講師:さとうわきこ氏 会場:新津美術館市民ギャラリー	70
9月15日・ 10月7日	おはなトレイン(子ども向け展示解説会)【再掲】	講師:職員、新津美術館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館展示室	32
実施計5回		合計	1387

Ⅲ 調査研究事業

項目	内容
年報の発行	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。 平成25年度中に、平成20年度から24年度の5年間の諸活動をまとめた「5年報」を発行予定。
研究紀要	美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして掲載。新潟市美術館と共同で年1回発行。(新潟美術館は学芸員が2人のため、平成24年度版への掲載はなし。) 発行部数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかに送付
秋葉区の美術品の調査	秋葉区内の公共施設等で所有または保管している美術作品について調査を実施し、展覧会の企画立案に役立てる。 <企画展>秋葉区の隠れた名品展の開催【再掲】

Ⅳ 収蔵保存事業

1. 収蔵・展示環境保全、作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	○収蔵庫、展示室の温湿度管理 ○浮遊菌数調査、虫害調査を実施(公益財団法人文化財虫害研究所へ委託)
作品管理	所蔵作品のカードデータ化、デジタルデータ化を実施

2. 美術資料の収集

①寄贈

区分	作家名(点数)
絵画 15点	小島丹漾(5点)、小島悦子(2点)、宮川寅雄(5点)、下村良之介(3点)、
彫刻 2点	金子直裕(2点)
書 2点	宮川寅雄(2点)
工芸 1点	宮川寅雄(1点)
絵本原画 52点	ブラティスラヴァ世界絵本原画展出品作品(52点)
合計 72点	

②管理替(秋葉区役所・新津図書館・小須戸出張所より)

区分	作家名(点数)
絵画 6点	佐藤哲三郎(1点)、高橋五仙子(1点)、長井亮之(1点)、中島萬木(1点)、平松譲(1点)、高野三三男(1点)
彫刻 1点	羽下修三(1点)
合計 7点	

V 施設普及事業ほか

1. ミュージアムコンサート

※いずれも当館アトリウムで開催

(単位:人)

実施日	事業名	内 容	参加者数
10月13日	ピアノ名曲とおはなし	ピアノの名曲と朗読のコラボレーションコンサート ピアノ:佐々木京子氏 朗読:栗原美和氏	73
10月21日 10月27日	秋葉区美術展覧会ミニコンサート (各日2回、計4回)	演奏:スイングジャズオーケストラ・ストリングスアンサンブル 新津・新津市民合唱団・コールアール	156
11月24日 12月9日	華麗なるインド展 ミュージアムコンサート【再掲】 (各日2回、計4回)	インド古典音楽の演奏(シタール・タブラ) 演奏:でいがでいなエチゴ	204
12月1日	新潟 ARS NOVA コンサート	親しみやすい管弦楽コンサート 演奏:新潟 ARS NOVA	78
実施計10回		合計	511

2. シーズン&アート(文学と朗読と音楽を融合した公演)

(単位:人)

実施日	事業名	内 容	参加者数
4月21日	第27章「花のいのち」	宇野千代の文学作品の解説と朗読、箏の演奏 会場:燕喜館 奥座敷	67
8月4日	第28章「小泉八雲～怪談と平家物語」	八雲文学の解説と朗読、平家琵琶の語り、そして幽玄な仕舞 会場:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂	367
実施計2回		合計	434

3. 新津美術館ボランティアによる活動

(延べ人数 単位:人)

実施日	内 容	参加ボランティア数
4月14日～ 6月24日	ウルトラマン紙相撲・折り紙づくり(37回)【再掲】	49
7月22日～ 10月28日	ボランティアによる絵本のよみきかせ(16回)【一部再掲】	30
9月16日 10月7日	こどものための展示ガイド おはなしトレイン(2回)【再掲】	2
9月22・23 日、10月 13・21日	イベントサポート(講演会、ワークショップ、ミュージアムコンサート)4回	10
6月～ 1月	広報補助(ポスター・チラシの封詰め、郵送作業補助)8回	13
実施回数 67回		合計 104

4. 利用者にやさしいサービス

(単位:人)

項 目	内 容	利用人数
「託児サービス」	会期中の第2・4の木曜・土曜日 10:00～12:00 対象:6ヶ月～未就学児 事前予約制 無料 <実績> 利用日数 12日	25
「こどもタイム」	親子で語り合いながら鑑賞できる時間帯を設定 会期中の第1・3の木曜・日曜日 10:00～13:00 <実績> 94日 ※ウルトラマン創世紀展は毎日実施	—
「あいてマンデ～」	各展覧会会期中に1回、月曜日を閉館 <実績> 5日	—

5. その他

項目	内容
他施設との連携	○秋葉区内3施設連携による観覧料の割引 ・新津美術館、新潟市鉄道資料館、新潟県立植物園のチケット提示でそれぞれ団体割引
	○花ふるフェスタ協賛イベントによる観覧料の割引 ・新津観光協会等が中心となり県立植物園を会場に開催されるイベントで当日、観覧料を100円引き
	○フラワースタンプラリー ・新津美術館、新津フラワーランド、花夢里にいつ、他参加施設を巡るスタンプラリー
	○新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」 ・児童の作品を新津美術館に通年展示(月1回入替)
	○市内の他文化施設との連携 ・中央区の燕喜館及び新潟市民芸術文化会館でシーズン&アートを開催
	○新潟市美術館との連携 ・研修紀要の発行 ・両館の図録や絵はがきを双方で販売 ・ホームページの相互リンク ・こどもスタンプラリーの運用(H25.4～) 対象:中学生以下 4個で景品プレゼント
広報の拡充	○美術専門誌や新聞、テレビ、ラジオによる広報
	○秋葉区の商店街や理容・美容組合、医院、観光協会その他、江南区、南区、五泉市、月岡地区の事業所でもポスター配布等、広報活動を拡充